

令和8年度予算案のEBPM「地域子ども・子育て支援に必要な経費」

課題データ

子育てにおいて悩み・不安を抱える保護者は多く、感じている悩み・不安の具体的な内容として親子関係に関わるものも含まれていることを踏まえ、健全な親子関係の形成に向けた支援の必要性があると考えられる。

- ・子育てについての悩みや不安の程度
いつも感じる：13.8%、たまに感じる：56.0%（2020年）
- ・子育てについての悩みや不安の内容（複数回答として集計）
しつけの仕方が分からない：40.6%、子供との接し方が分からない：13.4%、子供の気持ちが分からない：29.5%（2020年）
（文部科学省「令和2年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究～家庭教育支援の充実に向けた保護者の意識に関する実態把握調査～」）

事業

(12) 親子関係形成支援事業

令和8年度当初予算案：2,231億円の内数

親子間における適切な関係性の構築を図ることを目的として、児童との関わり方や子育てに悩み・不安を抱えた保護者が、親子の関係性や発達に応じた児童との関わり方等の知識や方法を身につけるため、当該保護者に対して、講義、グループワーク、個別のロールプレイ等を内容としたペアレント・トレーニング等を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設けることで、健全な親子関係の形成に向けた支援を行う。

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

親子関係形成支援事業の実施自治体数
(2024年度 187自治体)

短期 アウトカム

親子関係形成支援の実施家庭数の増加
2026年度 12,000人 (2024年度 5,193人)

中期 アウトカム

親子関係形成支援が児童との関わり方や子育てに悩み・不安の軽減につながった割合の増加
2026年度 70% (-)

長期 アウトカム

「子育てが地域で支えられていると思う」と回答する保護者の割合の増加
2026年度 50% (2023年度 30%)

EBPM指標

目標

こども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み